

番号	2-1-1	表題	水理模型を用いた合流改善貯留管の空気噴出事象の再現について	
内容	<p>善福寺川（上流）合流改善貯留管は、降雨初期の特に汚れた雨水を貯留し、関連する水域の水質改善を図るもので、管径 2,400mm、延長 3.4 km、貯留量約 15,000m³ の長大貯留管である。</p> <p>本貯留管は令和 3 年より供用を開始したが、同年 9 月の台風による豪雨時に空気噴出事象が発生し、対策が必要となった。このため、本貯留管を模した水理模型実験により空気噴出事象を再現し、管きょ内における水と空気の挙動による水理的問題点を把握することとした。本稿では、この水理模型実験の結果について報告を行う。</p>			
キーワード	合流改善 貯留管 空気噴出現象 水理模型実験			
処理区名	新河岸処理区	位置区分	管きょ	
職種区分	土木	施策区分	合流改善	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和 4 年度	全体期間	令和 4 年度	
担当部署	第二基幹施設再構築事務所 設計課 事業調査担当			
発表履歴	局内			
	局外	令和 5 年度 第 60 回下水道研究発表会		
調査方法				
関連情報				